

## 滝沢「これから」会議 タキザワコレカラカイギ

平成30年10月 滝沢市

1

宮崎道名 (ミヤザキ ミチナ)

- NPO法人点空社 代表理事 / (株) カントリー・ラボ
- 新潟でまちづくりを学んだ。元NPO法人まちづくり学校理事等  
元 新潟大学客員准教授、現 東洋大学客員研究員
- 2002頃から岩手県紫波町でまちづくりのお手伝い (2007～岩手に拠点)
- 地域でのコミュニティデザインや計画づくり
- オガールプロジェクトの各ワークショップなど
- 2008-2011年まで、NPO法人風・波デザインの代表  
→紫波町市民活動支援センター、紫波町コミュニティ・ビジネス  
サポートセンター、岩手県NPO活動交流センターなどを運営  
NPOや地域の組織の育成のお手伝いも：大沢地区のNPO、FT養成講座  
一本木の「赤石農場」は、先代の宮崎 (原田) 道名が紫波の赤石の人たちと開拓

2

## 今日の進め方

【これからの滝沢の説明】

未来を創造する前に / 地域の現状と未来創造のタネになる課題のポイント

【みなさんと作業】

高齢者率と18歳未満同居率の散布図づくり

【みなさんとオープントーク】

「これから」会議に期待すること、「これから」会議

3

## 未来を創造する前に

4

# 「これまでの20年と、 これからの20年は違う」

## 市民が主体のまちづくりの進化へ (協働2.0)

5

### はじめに：なぜ市民が主体のまちづくりの進化なのか

滝沢市がこれから抱える課題

**①人口減少**  
地区によってピークはまちまち  
市全体では過去20年で4000人増だが、  
今後35年間で46000人まで減少  
高齢人口のみ2045年まで増加。

6

□ 現状が継続することを前提とすると、2100年には日本の総人口は5千万人弱まで減少し、明治末頃の人口規模になる見込み。

### 長期的な人口の推移と将来推計

**図表 1-1-3 我が国の「人口ピラミッド」の推移 (1950年、2000年、2050年)**

資料) 1950年、2000年：総務省統計局「国勢調査」の実績値  
2050年：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の中間推計より国土交通省作成

7

### はじめに：なぜ市民が主体のまちづくりの進化なのか

滝沢市がこれから抱える課題

**②少子高齢化（人口構造の変化）**  
なりわい、自治も含め、さまざまな担い手が不足すること  
要介護認定者が確実に増えること  
社会保障のためのお金（扶助費）がもっと必要になること。

8



滝沢市全体の将来推計（コーホート予測）

全市	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口（人）	51,219	53,533	53,402	55,140	55,411	55,106	54,285
0～14歳	8,825	8,542	7,994	7,970	7,437	6,840	6,421
15～64歳（A）	36,739	37,652	36,344	35,312	33,962	32,959	31,759
65～74歳	3,459	4,179	5,151	6,853	7,830	7,330	6,812
75歳～	2,196	3,160	3,913	5,005	6,182	7,977	9,294
85歳～（B）	476	781	1,069	1,510	1,824	2,225	2,740
高齢者率	11.0%	13.7%	17.0%	21.5%	25.3%	27.8%	29.7%
A+B	77.2人	48.2人	34.0人	23.4人	18.6人	14.8人	11.6人

※2015年の高齢者率 岩手県平均：30.21% 全国平均：26.63%

## はじめに：なぜ市民が主体のまちづくりの進化なのか

滝沢市がこれから抱える課題

### ③公共施設の老朽化

【表1】（建設後50年以上経過する施設の割合の例）

	平成24年3月	10年後	20年後
道路橋（橋長2m以上）	約16%	約40%	約65%
トンネル	約18%	約30%	約65%

注）国土交通省「社会資本の維持管理・更新に関し当面講ずべき措置」より抜粋

10

## はじめに：なぜ市民が主体のまちづくりの進化なのか

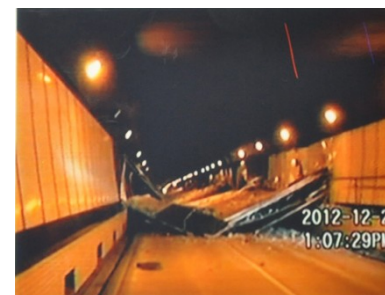
### ③公共施設の老朽化

道路 約502 km、舗装率85.5%  
 橋梁 106橋 架橋から25年以上～50年未満経過（66橋）  
 50年以上経過が4橋  
 上水道 約377km 本格的に水道事業が進んだのは昭和48年（45年前）から  
 下水道 約218 km 整備面積は約722ha 浄化槽含むと普及率82.5%  
 （昭和53年から整備）下水道の約20%が40年以上経過  
 公共施設 延床面積116,000m<sup>2</sup> うち、約50%が築30年以上  
 10年後には30年以上の施設が全体の3/4を占める  
 このほか水路や河川、市道ではない道など多数あり

滝沢市公共施設等総合管理計画より

11

## 2012年12月 笹子トンネル天井板落下事故（山梨県警）



- 記憶に新しいところでは、山梨県の笹子トンネル天井板落下事故。
- 築40、50年に満たない状態で発生。

12

### はじめに：なぜ市民が主体のまちづくりの進化なのか

滝沢市がこれから抱える課題

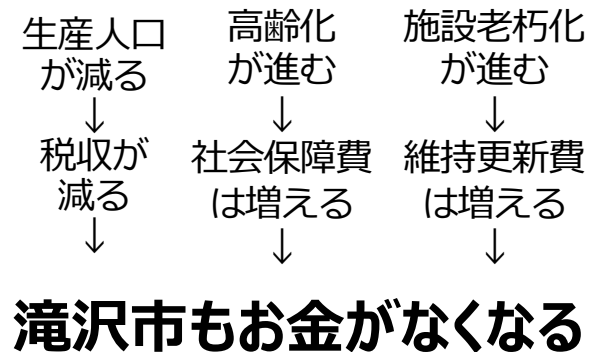
#### ③公共施設、道路及び橋梁にかかる中長期的な経費

今後30年の間、毎年いくらかかるか？（必要額649億／年22億円）

この5年、ビッグライフ滝沢の整備を含み、毎年23億円かけていた。

※通常はその1／4程度が平均：毎年ビッグライフ滝沢を作り続けるイメージ  
仮にこのペースで充当しても、平成38年までほぼ毎年財源不足が見込まれる。  
さらに2042年度から建て替え、大規模改修のラッシュがはじまる。

滝沢市公共施設等総合管理計画より



### 滝沢市の財政

(単位：百万円、%)

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	計画額	伸び	計画額	伸び	計画額	伸び	計画額	伸び	計画額	伸び
市	5,096	▲2.2	5,037	▲0.4	5,039	0.0	4,924	▲2.2	4,915	▲0.2
支用税・非税料	121	▲4.1	120	0.0	120	0.0	120	0.0	120	0.0
その他収入	1,641	▲0.1	1,299	▲14.6	1,297	▲1.5	1,245	▲4.0	1,297	4.2
小計	6,828	▲3.3	6,556	▲3.8	6,465	▲1.5	6,200	▲4.2	6,245	0.7
地方交付税	5,267	▲4.7	5,275	0.0	5,451	▲3.3	5,596	▲2.7	5,842	1.2
国庫支出金	4,169	2.3	2,958	▲29.0	2,995	0.9	2,953	▲1.4	3,019	2.2
国庫支出金	1,402	▲0.9	1,274	▲9.1	1,397	1.6	1,420	1.6	1,454	2.0
国庫支出金	1,294	▲0.9	1,250	▲4.2	1,406	1.2	1,553	10.2	1,561	▲0.5
国庫支出金	2,050	▲0.1	2,111	▲2.9	2,052	0.0	2,025	▲1.3	2,022	▲0.1
小計	12,427	0.3	10,629	▲14.5	10,122	0.9	10,344	2.4	10,489	1.2
繰入増減目標額	19,292	▲0.8	18,696	▲3.1	16,895	▲10.7	16,797	0.6	16,304	▲3.0
収入(繰入一纏目)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費										
人件費	2,200	0.1	2,434	▲10.6	2,395	▲1.6	2,401	0.0	2,324	▲3.2
経費	5,149	▲0.0	5,142	▲0.1	5,147	0.1	5,172	0.5	5,197	0.5
経費	1,327	0.0	1,409	6.1	1,421	0.8	1,459	2.7	1,485	0.4
経費	2,279	7.9	2,152	▲5.6	2,097	▲2.6	2,130	1.6	2,215	4.0
経費	295	▲27.1	298	0.9	298	0.0	298	0.0	298	0.0
経費	2,839	▲4.4	2,764	▲2.6	2,764	0.0	2,746	▲0.7	2,704	▲1.5
小計	14,619	▲0.3	14,198	▲2.8	14,115	▲0.6	14,206	0.6	14,204	▲0.0
繰入金	40	▲9.3	40	0.0	40	0.0	40	0.0	40	▲0.1
その他	120	0.0	120	0.0	125	4.2	129	3.2	134	3.9
経費	1,410	1.3	1,527	8.3	1,609	5.4	1,699	5.4	1,803	6.0
小計	1,570	▲21.4	1,690	7.7	1,734	2.6	1,889	5.7	2,037	8.0
経費	3,268	12.9	3,258	▲0.3	3,251	▲0.2	3,251	0.0	3,251	0.0
経費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
経費	3,268	11.7	3,258	▲0.3	3,251	▲0.2	3,251	0.0	3,251	0.0
繰出削減目標額	19,292	▲0.8	18,696	▲3.1	16,895	▲10.7	16,797	0.6	16,304	▲3.0
収入(繰入一纏目)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 人口減少、とめられますか？

仮に明日から出生率が第二次ベビーブーム並みになったとしても(2.0人)、ちゃんと人口が回復？するまで50年かかると言われている。

滝沢市の出生率は1.49(2012年)で、回復傾向。全国平均は1.41。

扶助費、削れますか？

そんなこと、できないですよ。

17

公共施設、道路、橋、水道、減らせますか？

簡単には、できないですよ。

18

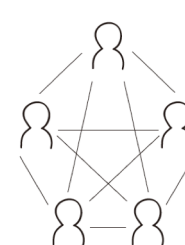
一方で市民側としても、なんでも、かんでも  
「行政（滝沢市）」にお願い・・・は、  
もう通用しないを知っておく必要がある。

自分たちの地域は、  
自分たちで守る・・・ように意識付けして  
いかなければ。

高齢化が進行しすぎる前に、やっておくこと。

19

## 人口減少。地域でできることが減っていく。



10通りのネットワークが存在  
= 10の作業やサービス



6通りのネットワークが存在  
= 6の作業やサービス

一人減るだけで、  
四通りのサービスが・・・。

物理的に減っているのだから、  
今までのイメージの協働じゃ  
足りない。

地域、暮らしが維持できない  
状況が起こってくる。

20

これまでのまちづくりは、  
 やりたい人がやりたいことを考えていけばよかった。  
 でも、もうまちを支えている年代層は激減していくし、  
 人口構造も変わるし、様々な高齢化が始まる。  
 これでは人々の共感も得れない。  
 全国各地、この点で多くの失敗を重ねてきた。  
 同じことは物理的にできない。  
 意識を変えていく必要がある。  
 やりたいことだけでなく、必要なことを強く意識していく。  
 協働の進化、意識の変化が必要。  
 ※全国的な傾向で、政令市だろうが中核市だろうが手をつけている。  
 ……岡崎市も静岡市もつくば市も。

21

## 誰もいない公園や遊歩道。シャッター商店



茨城県稲敷市／神奈川県鎌倉市の例



22

過去のまちおこし、イベント、協働の事例はあまりあてにならない。  
 人口減少を考えてない時代の話。  
 多くの人が語る「協働」も前のイメージを引きずっている場合も多い。行政と市民だけとか、もうそんな時代ではない。総働である。

過去を引きずるプロ市民も、正直、相手にしなくていい。…と思う。  
 リノベーションまちづくりでさえ、人口減少社会に対応できるようシフトしている。強さ、派手さでは、共感は生まない。

23

## これまでの20年とこれからの20年では、全く違う。

- これらのことを住民や地域と共有して、住民のワガゴト化を図り、ともにまちづくりの主体、担い手になってもらうことが継続につながる。
- 理想は、地域づくりも含め、死ぬまで元気で働ける、役割があるまち。  
→介護保険にお世話にならないようにも。
- 足元の課題解決が民間のビジネスや仕事づくりにつながる。
- 弱さは強みになる。共感も生む。発信や分かち合い。
- 移住定住のきっかけに。特に滝沢は「帰ってくるまち」を意識しなければ、負ける。
- 何らかのアクションを起こさなければ、黙っていても衰退する。

24

**足元の課題、見落としていませんか？**

25

**足元の地域の課題ってなんですか？**

26

**課題から、共感を探していく。**

27

**そこに、継続性やみらいのタネがある。**

28

あらためて、地域の課題ってなんですか？

29

買物難民 耕作放棄地  
移動手段 子どもの貧困  
防災 防犯 空き家増加  
交通安全 高齢者の生活不安 地域活動の担い手不足

30

課題が違う  
||  
年齢構成が違う  
歴史が違う  
人が違う  
関心の度合いが違う

31

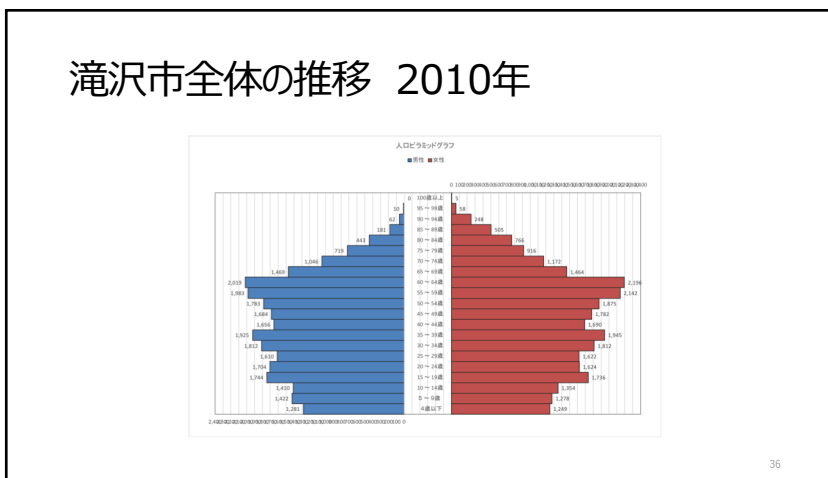
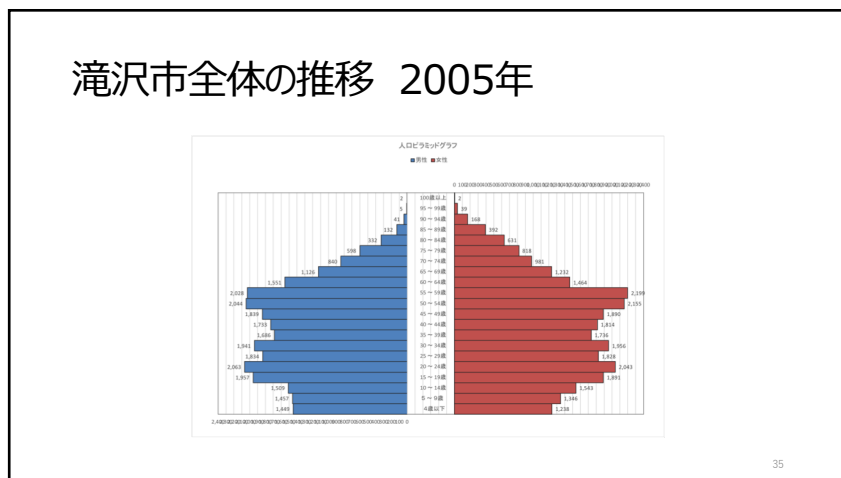
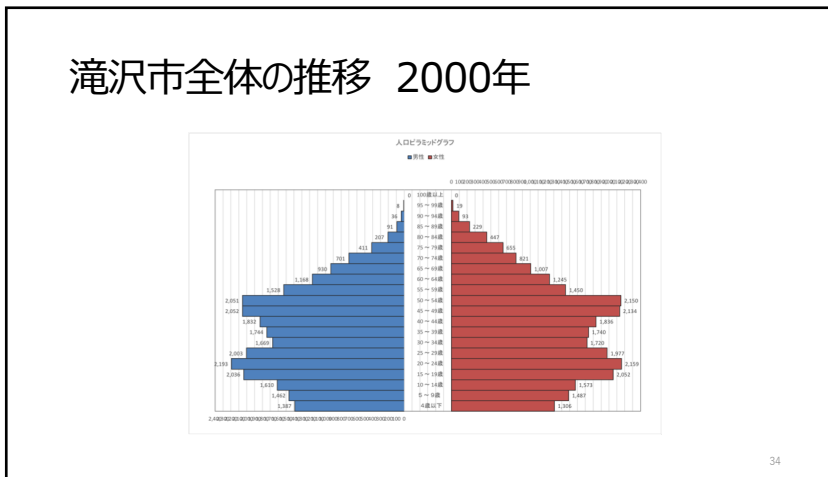
足元の課題を理解しないと、  
いろいろな人たちと未来創造ができない。  
言語も合わない。  
だから少し、数字からまちのリアルを感じてください。

32

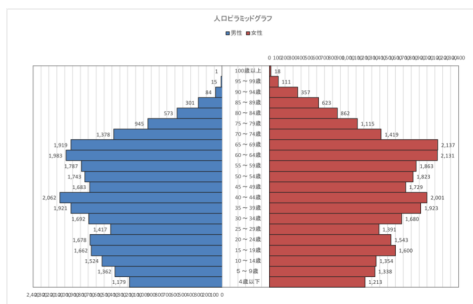
滝沢市全体の将来推計（コーホート予測）

全市	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口（人）	51,219	53,533	53,402	55,140	55,411	55,106	54,285
0～14歳	8,825	8,542	7,994	7,970	7,437	6,840	6,421
15～64歳（A）	36,739	37,652	36,344	35,312	33,962	32,959	31,759
65～74歳	3,459	4,179	5,151	6,853	7,830	7,330	6,812
75歳～	2,196	3,160	3,913	5,005	6,182	7,977	9,294
85歳～（B）	476	781	1,069	1,510	1,824	2,225	2,740
高齢者率	11.0%	13.7%	17.0%	21.5%	25.3%	27.8%	29.7%
A+B	77.2人	48.2人	34.0人	23.4人	18.6人	14.8人	11.6人

※2015年の高齢者率 岩手県平均：30.21% 全国平均：26.63%

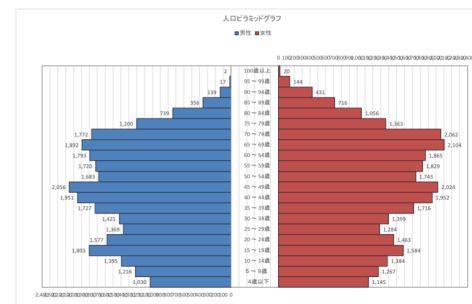


### 滝沢市全体の推移 2015年



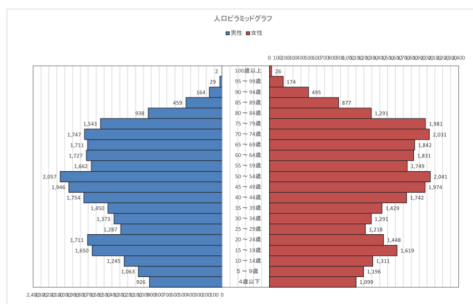
37

### 滝沢市全体の推移 2020年



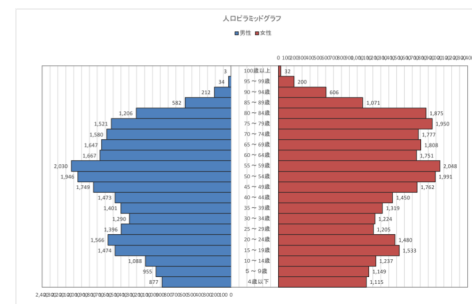
38

### 滝沢市全体の推移 2025年



39

### 滝沢市全体の推移 2030年



40



地域別に見てみましょう。

41

まずは人口の多い地域から。

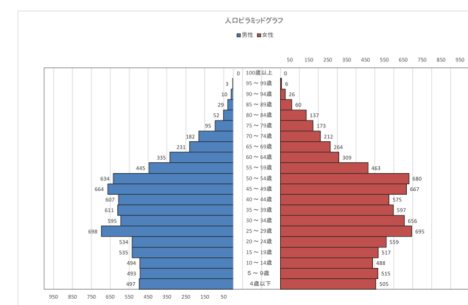
42

滝沢市 各地区別の将来推計

元村地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口（人）	15,848	17,170	17,608	19,024	19,803	20,435	21,003
0～14歳	2,992	3,096	2,956	3,169	3,186	3,130	3,203
15～64歳 (A)	11,376	12,167	12,112	12,333	12,303	12,424	12,435
65～74歳	889	1,127	1,514	2,141	2,539	2,468	2,441
75歳～	591	780	1,026	1,381	1,775	2,413	2,924
85歳～ (B)	134	189	257	415	481	580	763
高齢者率	9.3%	11.1%	14.4%	18.5%	21.8%	23.9%	25.5%
A+B	84.9人	64.4人	47.1人	29.7人	25.6人	21.4人	16.3人

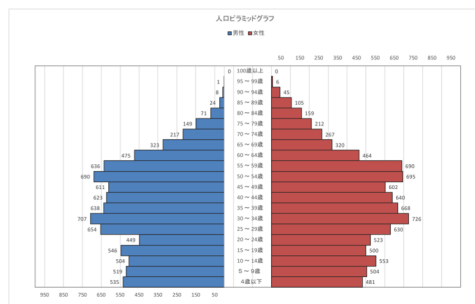
43

元村地区の推移 2000年



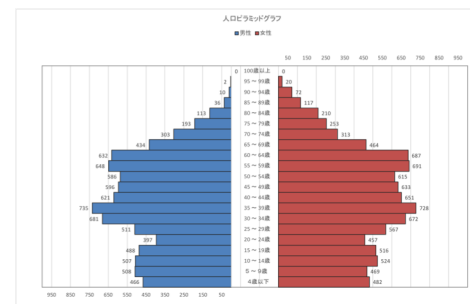
44

### 元村地区の推移 2005年



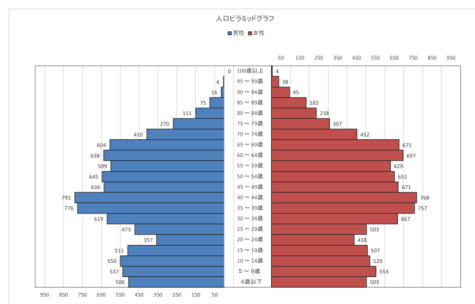
45

### 元村地区の推移 2010年



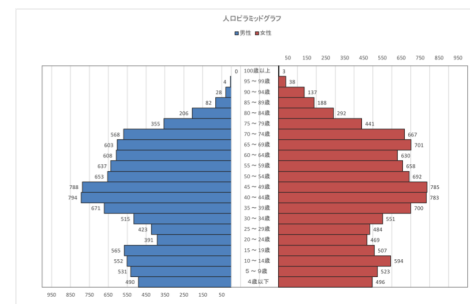
46

### 元村地区の推移 2015年



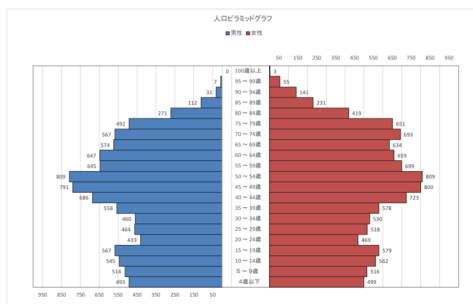
47

### 元村地区の推移 2020年



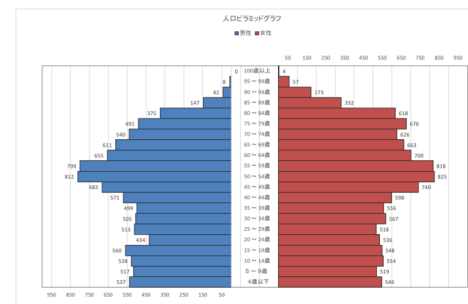
48

### 元村地区の推移 2025年



49

### 元村地区の推移 2030年



50

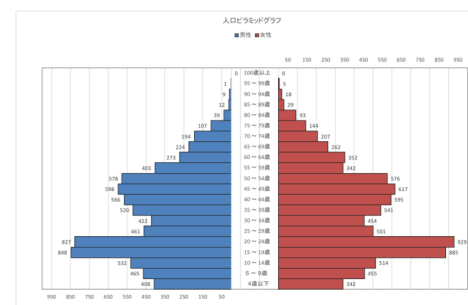
滝沢市 各地区別の将来推計

川前地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口(人)	15,348	15,658	15,928	16,267	16,293	16,186	15,870
0~14歳	2,716	2,419	2,257	2,136	1,976	1,776	1,589
15~64歳(A)	11,288	11,426	11,383	11,045	10,497	10,023	9,535
65~74歳	887	1,053	1,312	1,829	2,264	2,248	2,135
75歳~	457	760	976	1,257	1,555	2,139	2,611
85歳~(B)	74	149	235	361	457	578	696
高齢者率	8.8%	11.6%	14.4%	19.0%	23.4%	27.1%	29.9%
A+B	152.5人	76.7人	48.4人	30.6人	23.0人	17.3人	13.7人

特定の層の人口が突出しており、定住にはつながらない。減少傾向にある。

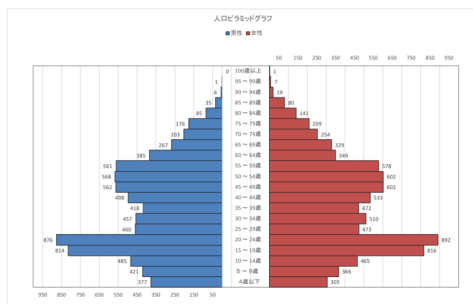
51

### 川前地区の推移 2000年



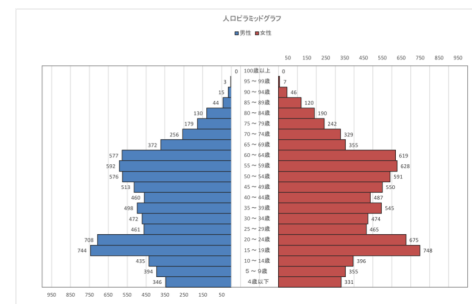
52

### 川前地区の推移 2005年



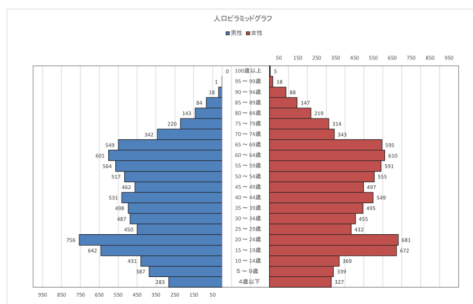
53

### 川前地区の推移 2010年



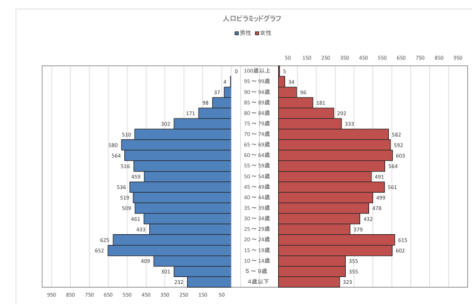
54

### 川前地区の推移 2015年



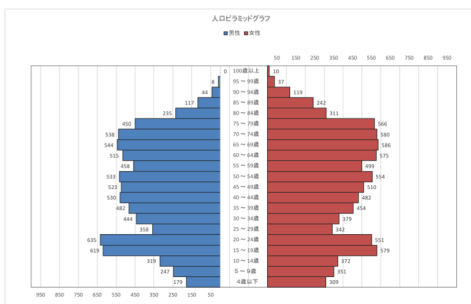
55

### 川前地区の推移 2020年



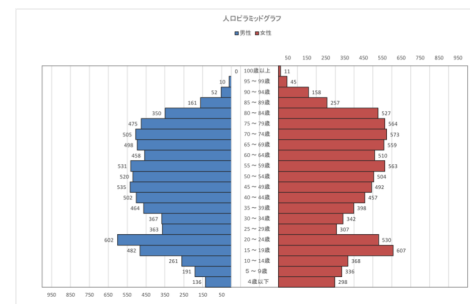
56

### 川前地区の推移 2025年



57

### 川前地区の推移 2030年



58

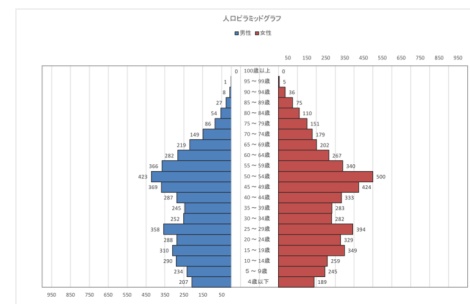
滝沢市 各地区別の将来推計

鶺鴒地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	9,407	9,607	9,730	10,001	9,977	9,794	9,578
0~14歳	1,424	1,343	1,408	1,495	1,387	1,251	1,152
15~64歳 (A)	6,681	6,519	1,408	1,495	1,387	1,251	1,152
65~74歳	749	940	1,219	1,584	1,607	1,293	1,070
75歳~	553	805	983	1,295	1,686	2,140	2,388
85歳~ (B)	152	260	338	439	566	718	930
高齢者率	13.8%	18.2%	22.6%	28.8%	33.0%	35.0%	36.1%
A + B	44.0人	25.1人	18.1人	12.8人	9.4人	7.1人	5.3人

2015現在全国平均より20-25年早い高齢者率

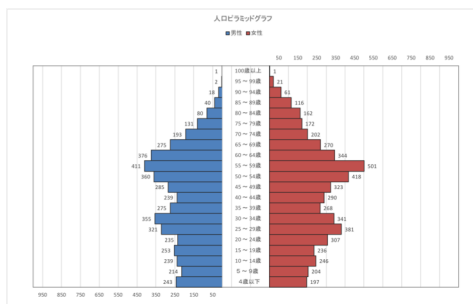
59

### 鶺鴒地区の推移 2000年



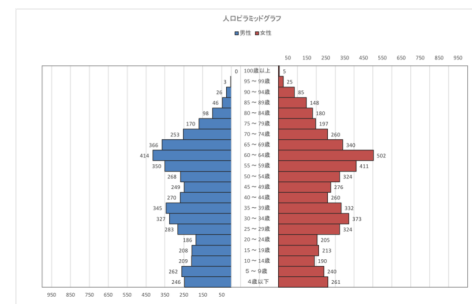
60

### 鵜飼地区の推移 2005年



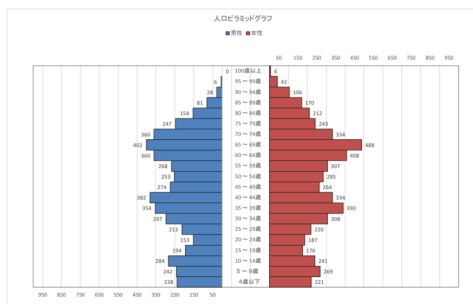
61

### 鵜飼地区の推移 2010年



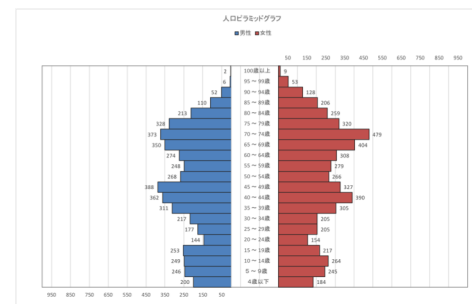
62

### 鵜飼地区の推移 2015年



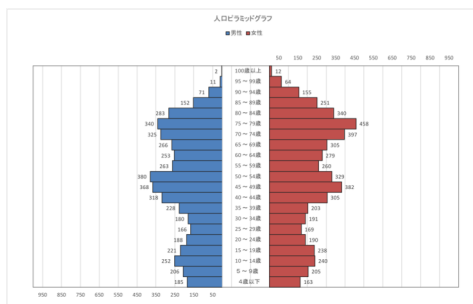
63

### 鵜飼地区の推移 2020年



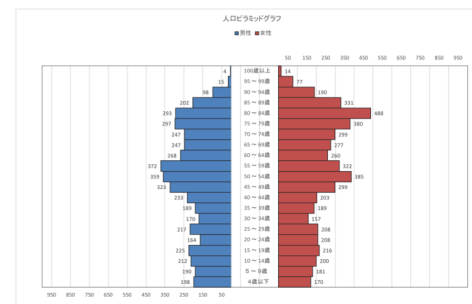
64

### 鶺鴒地区の推移 2025年



65

### 鶺鴒地区の推移 2030年



66

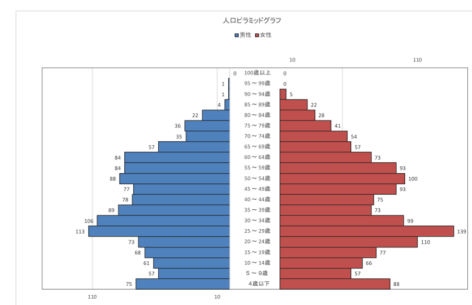
滝沢市 各地区別の将来推計

大釜地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口(人)	2,559	2,736	2,657	2,682	2,675	2,653	2,614
0~14歳	404	464	429	400	335	323	310
15~64歳(A)	1,792	1,816	1,704	1,682	1,687	1,656	1,622
65~74歳	203	257	314	340	337	318	303
75歳~	160	199	210	260	316	357	379
85歳~(B)	33	52	59	69	70	96	119
高齢者率	14.2%	16.7%	19.7%	22.4%	24.4%	25.4%	26.1%
A+B	54.3人	34.9人	28.9人	24.4人	24.2人	17.3人	13.6人

2015現在全国平均より5~10年遅い高齢者率

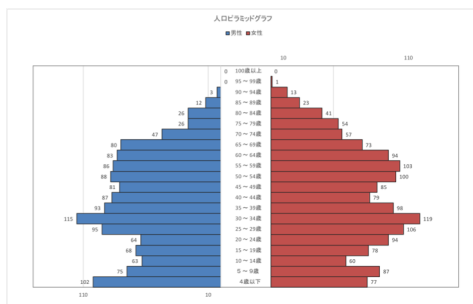
67

### 大釜地区の推移 2000年



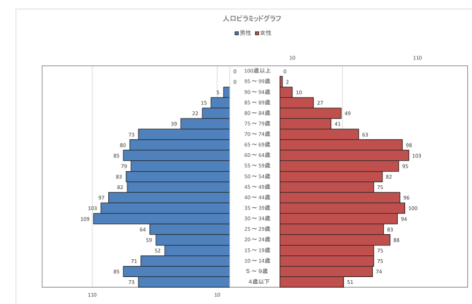
68

### 大釜地区の推移 2005年



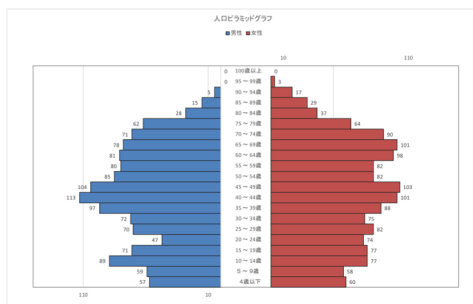
69

### 大釜地区の推移 2010年



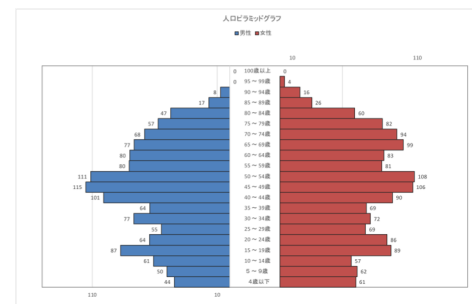
70

### 大釜地区の推移 2015年



71

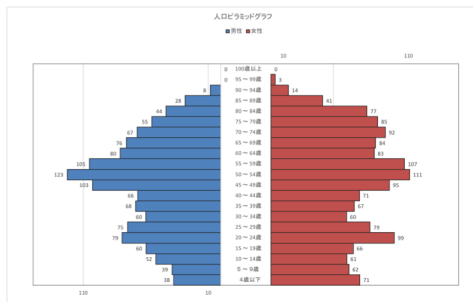
### 大釜地区の推移 2020年



72

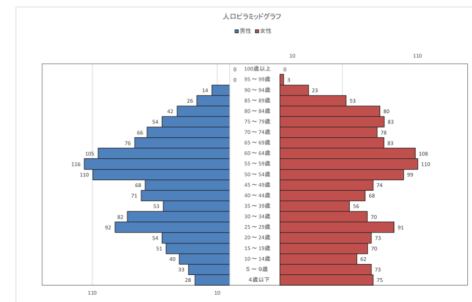


### 大釜地区の推移 2025年



73

### 大釜地区の推移 2030年



74

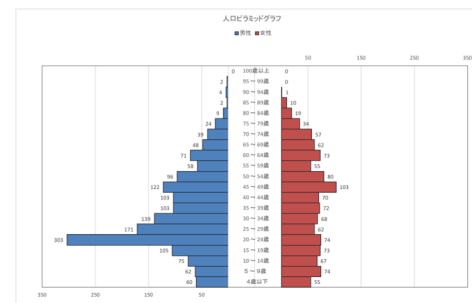
滝沢市 各地区別の将来推計

一本木地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	2,705	2,843	2,146	2,028	1,816	1,545	1,282
0~14歳	393	366	197	150	106	79	56
15~64歳 (A)	2,001	2,086	1,599	1,459	1,251	1,019	802
65~74歳	206	227	195	213	250	231	185
75歳~	105	164	155	206	209	216	238
85歳~ (B)	19	30	30	53	62	69	65
高齢者率	11.5%	13.8%	16.3%	20.7%	25.3%	28.9%	33.0%
A+B	105.3人	69.5人	53.3人	27.5人	20.3人	14.8人	12.3人

2015現在全国平均より5-10年遅い高齢者率 混在地域あり。子どもは減っている。

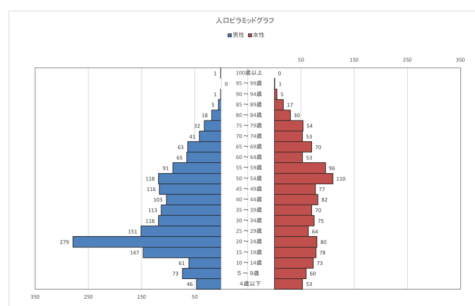
75

### 一本木地区の推移 2000年



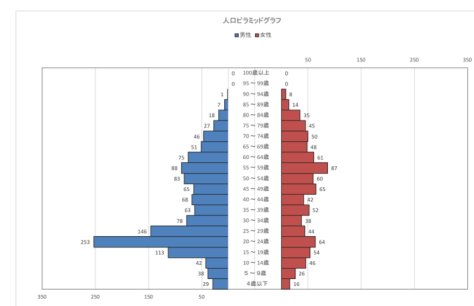
76

### 一本木地区の推移 2005年



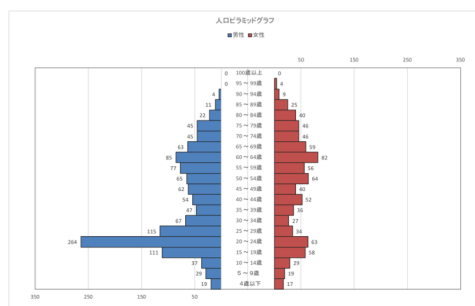
77

### 一本木地区の推移 2010年



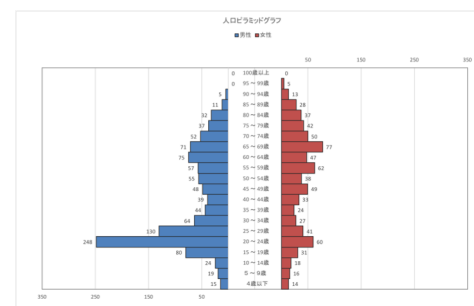
78

### 一本木地区の推移 2015年



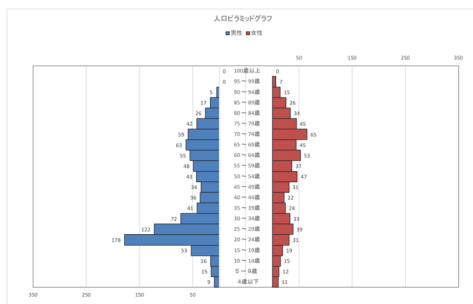
79

### 一本木地区の推移 2020年



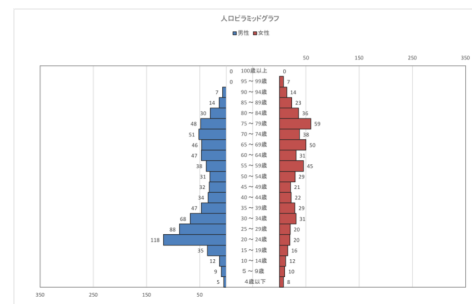
80

### 一本木地区の推移 2025年



81

### 一本木地区の推移 2030年



82

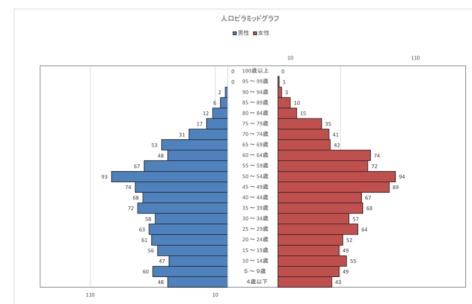
滝沢市 各地区別の将来推計

小岩井地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	1,916	2,127	2,069	2,032	1,995	1,924	1,825
0~14歳	302	332	277	222	157	116	79
15~64歳 (A)	1,346	1,446	1,352	1,250	1,187	1,117	1,021
65~74歳	167	207	251	341	378	320	307
75歳~	101	142	189	219	273	370	418
85歳~ (B)	22	28	50	56	65	86	108
高齢者率	14.0%	16.4%	21.3%	<u>27.6%</u>	<u>32.6%</u>	<u>35.9%</u>	<u>39.7%</u>
A+B	61.2人	51.6人	27.0人	22.3人	18.3人	12.9人	9.4人

2015現在全国平均より1~2年早い高齢者率

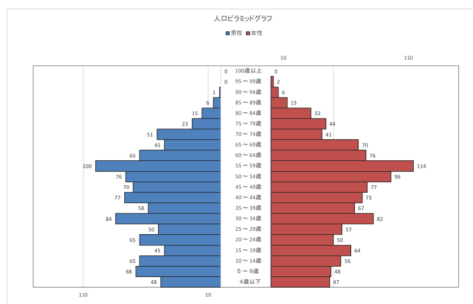
83

### 小岩井地区の推移 2000年



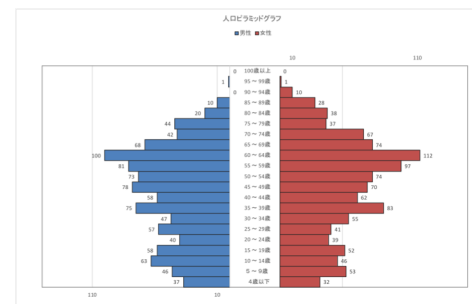
84

### 小岩井地区の推移 2005年



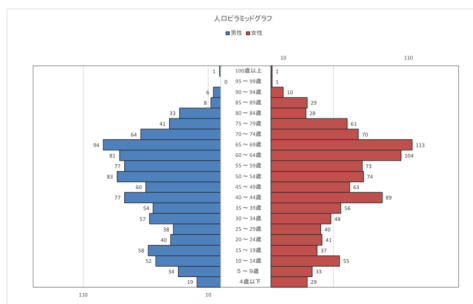
85

### 小岩井地区の推移 2010年



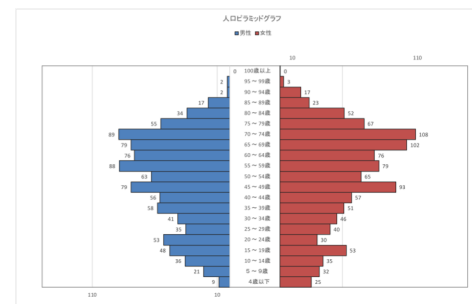
86

### 小岩井地区の推移 2015年



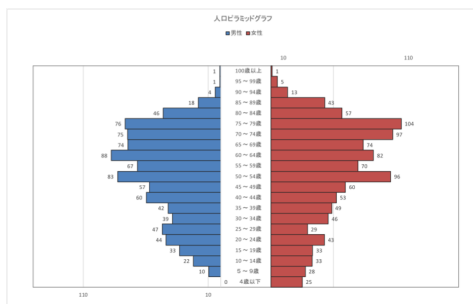
87

### 小岩井地区の推移 2020年



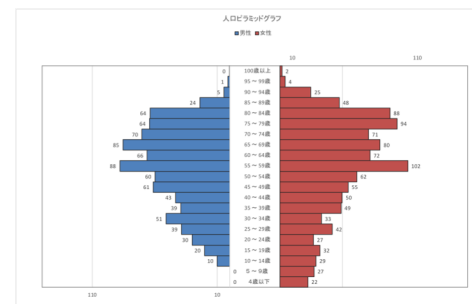
88

### 小岩井地区の推移 2025年



89

### 小岩井地区の推移 2030年



90

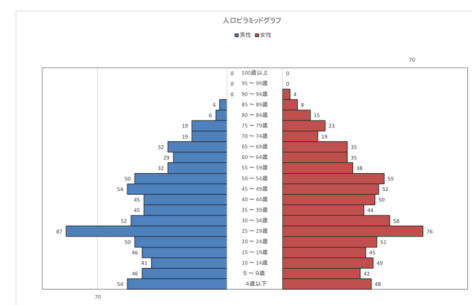
滝沢市 各地区別の将来推計

篠木地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	1,458	1,349	1,361	1,322	1,268	1,207	1,133
0~14歳	280	231	219	192	166	140	119
15~64歳 (A)	994	900	900	861	801	743	683
65~74歳	105	124	126	144	167	166	155
75歳~	79	94	116	125	134	158	175
85歳~ (B)	16	23	33	31	40	45	46
高齢者率	12.6%	16.2%	17.8%	20.3%	23.7%	26.8%	29.2%
A+B	62.1人	39.1人	27.3人	27.8人	19.9人	16.6人	14.9人

2015現在全国平均より10年遅い高齢者率

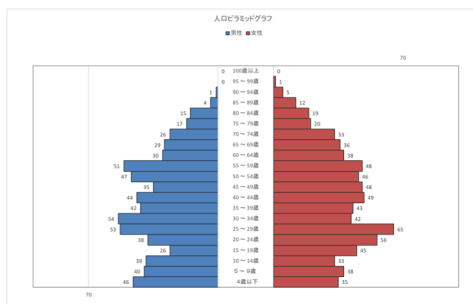
91

### 篠木地区の推移 2000年



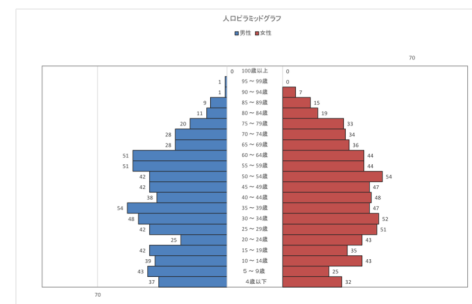
92

### 篠木地区の推移 2005年



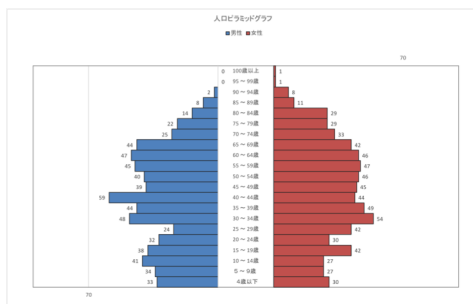
93

### 篠木地区の推移 2010年



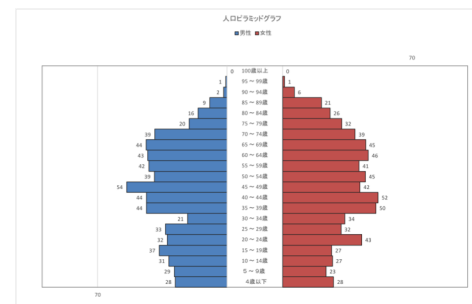
94

### 篠木地区の推移 2015年



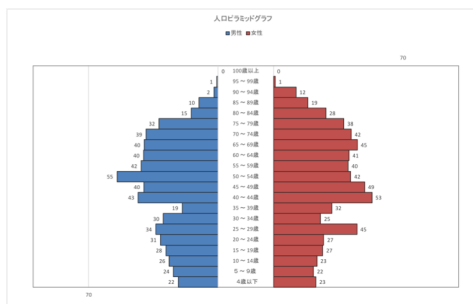
95

### 篠木地区の推移 2020年



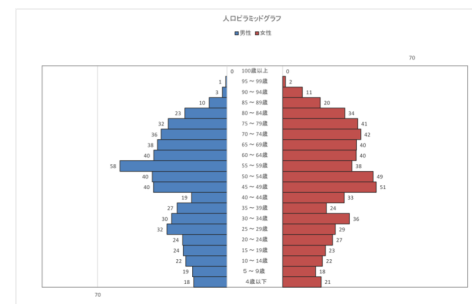
96

### 篠木地区の推移 2025年



97

### 篠木地区の推移 2030年



98

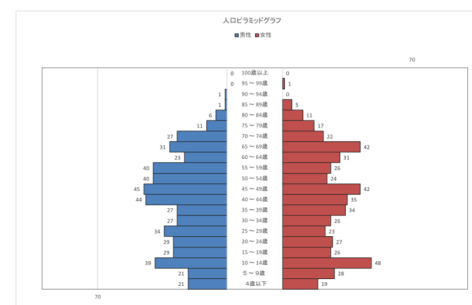
滝沢市 各地区別の将来推計

柳沢地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	983	1,035	959	895	832	753	664
0~14歳	176	169	135	105	66	21	-9
15~64歳 (A)	632	657	587	544	481	426	371
65~74歳	122	118	119	121	147	163	135
75歳~	53	91	118	125	138	143	167
85歳~ (B)	8	18	27	36	47	51	54
高齢者率	17.8%	20.2%	24.7%	<u>27.5%</u>	<u>34.2%</u>	<u>40.6%</u>	<u>45.5%</u>
A+B	79.0人	36.5人	21.7人	15.1人	10.2人	8.4人	6.9人

2015現在全国平均より1~2年早い高齢者率

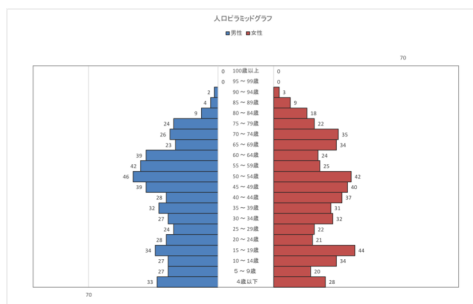
99

### 柳沢地区の推移 2000年



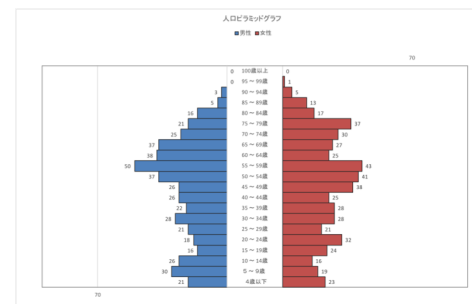
100

### 柳沢地区の推移 2005年



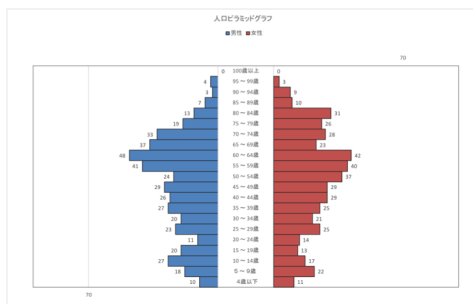
101

### 柳沢地区の推移 2010年



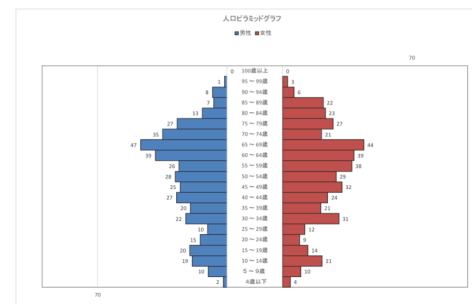
102

### 柳沢地区の推移 2015年



103

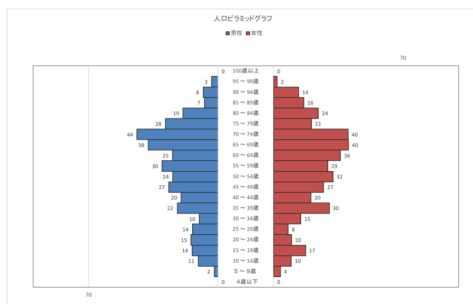
### 柳沢地区の推移 2020年



104

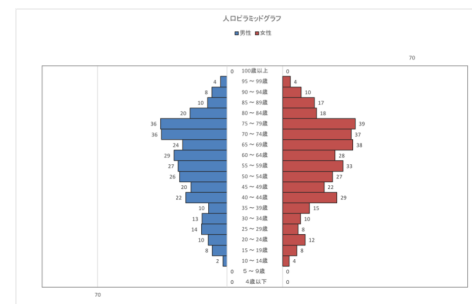


### 柳沢地区の推移 2025年



105

### 柳沢地区の推移 2030年



106

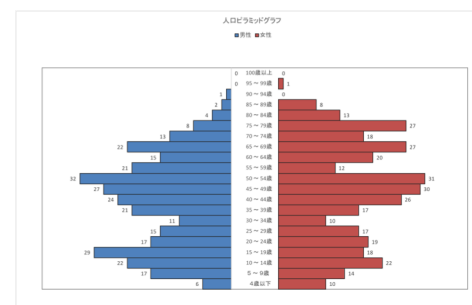
滝沢市 各地区別の将来推計

大沢地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	647	655	629	585	551	509	461
0~14歳	91	72	73	66	52	29	15
15~64歳 (A)	412	423	410	343	313	282	255
65~74歳	80	78	61	89	105	97	83
75歳~	64	82	85	87	82	100	108
85歳~ (B)	12	23	22	30	33	28	25
高齢者率	22.3%	22.4%	23.2%	<b>30.1%</b>	<b>33.8%</b>	<b>38.9%</b>	<b>41.5%</b>
A+B	34.3人	18.4人	18.6人	11.4人	9.5人	10.2人	10.3人

2015現在全国平均より10~15年早い高齢者率

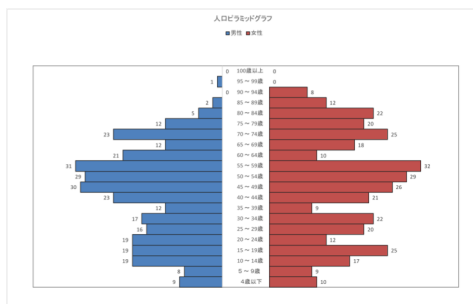
107

### 大沢地区の推移 2000年



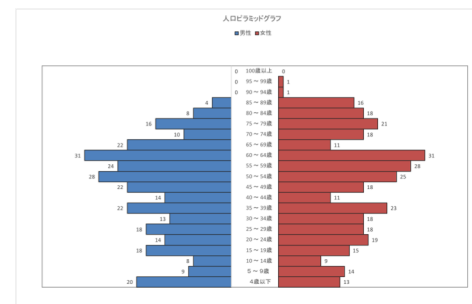
108

### 大沢地区の推移 2005年



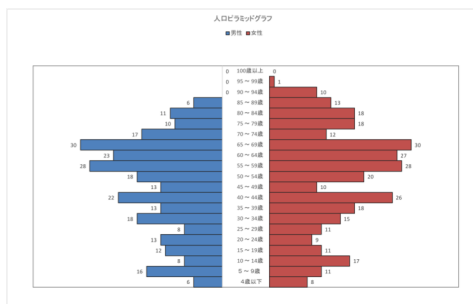
109

### 大沢地区の推移 2010年



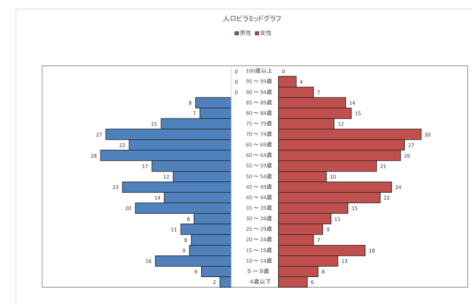
110

### 大沢地区の推移 2015年



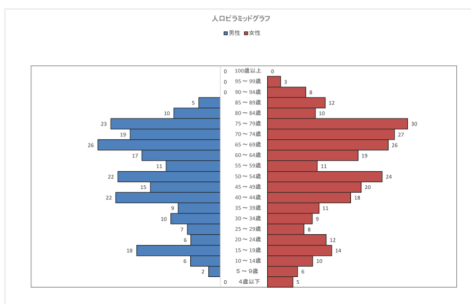
111

### 大沢地区の推移 2020年



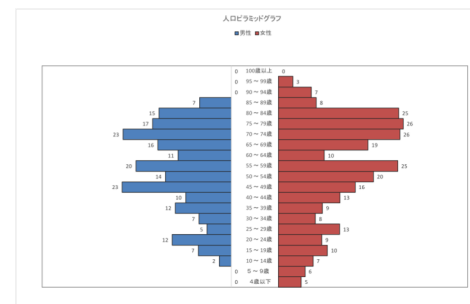
112

### 大沢地区の推移 2025年



113

### 大沢地区の推移 2030年



114

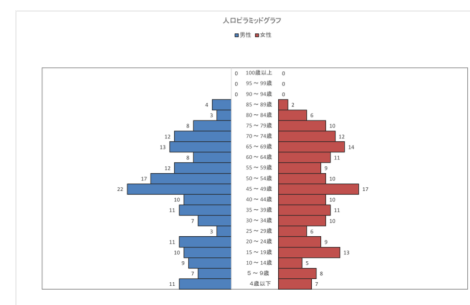
滝沢市 各地区別の将来推計

姥屋敷地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人口 (人)	348	353	315	304	289	270	248
0~14歳	47	50	43	35	39	36	33
15~64歳 (A)	217	212	177	168	136	125	110
65~74歳	51	48	40	51	65	54	42
75歳~	33	43	55	50	49	55	63
85歳~ (B)	6	9	18	20	18	18	17
高齢者率	24.1%	25.8%	30.2%	<u>33.2%</u>	<u>39.3%</u>	<u>40.4%</u>	<u>42.3%</u>
A+B	36.2人	23.6人	9.8人	8.4人	7.6人	7.1人	6.7人

2015現在全国平均より15~20年早い高齢者率

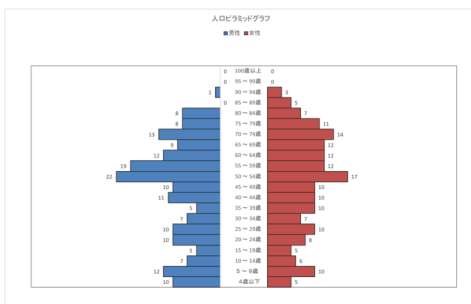
115

### 姥屋敷地区の推移 2000年



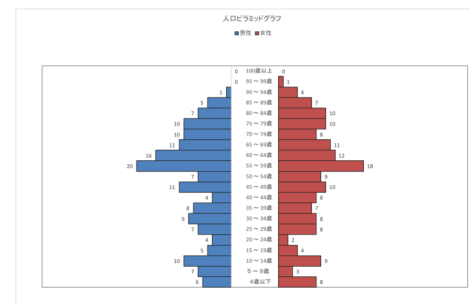
116

### 姥屋敷地区の推移 2005年



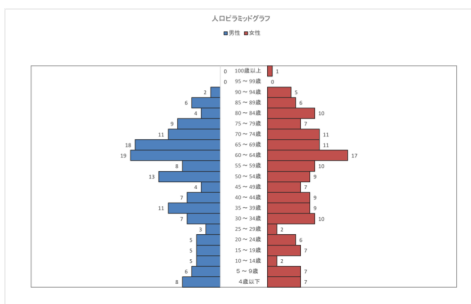
117

### 姥屋敷地区の推移 2010年



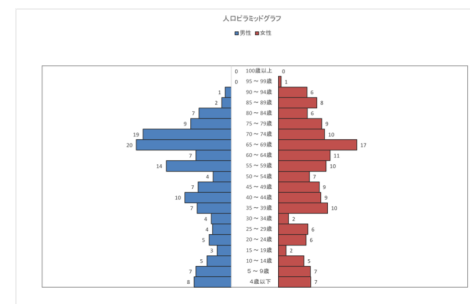
118

### 姥屋敷地区の推移 2015年



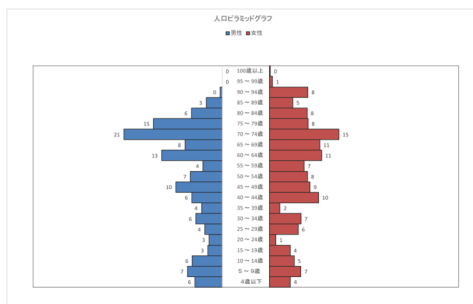
119

### 姥屋敷地区の推移 2020年



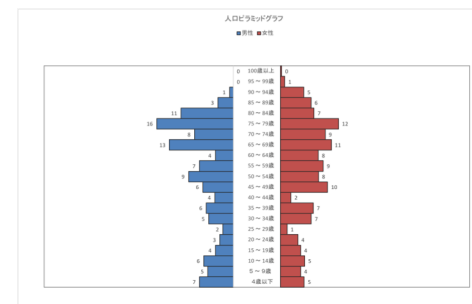
120

### 姥屋敷地区の推移 2025年



121

### 姥屋敷地区の推移 2030年

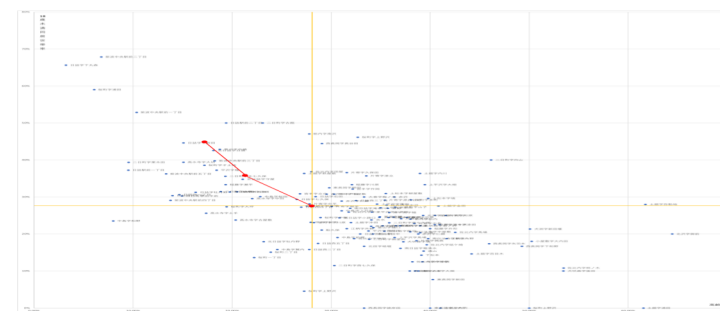


122

人口構造が変わってきてませんか？

123

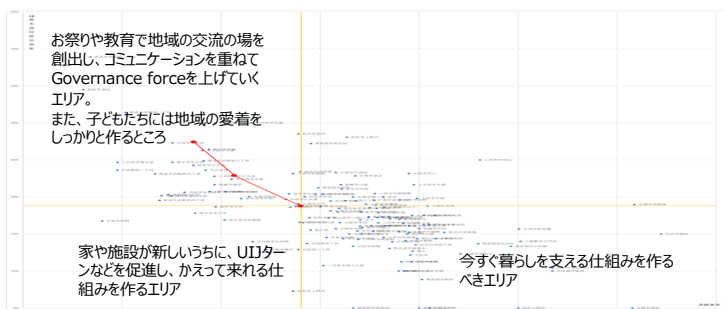
### みなさんで作業。



18歳未満同居率と高齢者率のクロスグラフで、自分の集落を確認してください。

124

## 字単位で地域を分析することも超重要。 手立ても課題も違うはず！！



18歳未満同居率と高齢者率のクロスグラフで、自分の集落を確認。

125

## 補足：人口推計から見えること

- ・高齢化が問題ではなく、人口構成が変わることが問題であること。
  - ・今の状況では、新しい組織体を地域で作っても限界が見えること。
  - ・どの年代で何人増減するか：地域で年代ごとに割り振られている「役割」「仕事」がその人数でこれからも維持できるかということ。
- 家庭や自治会などの個人領域（行政サービスや社会的サービスが及ばない範囲）が立ち行かなくなること
- 今は困らなくともいずれ困る。これ以上役割を増やしてはいけない。課題を明確にして、組織、会議、行事の棚卸しを図ることが必要であること。時間の使い方を変えることで乗り切る。
- 減少なら減少の、増加なら増加しているなりの課題があるはず。

126

## 「事象」と「課題」の違い

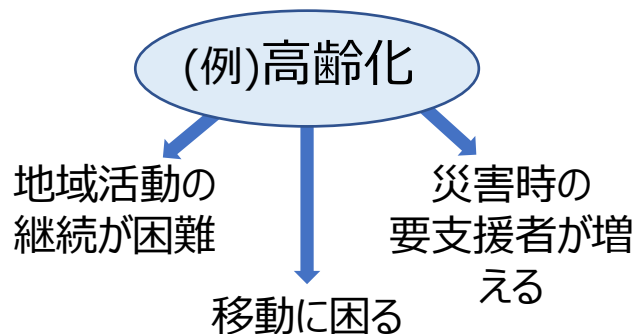
127

**「事象」**(現状に含まれる)  
(例)高齢化

**「課題」**  
(例)地域活動の参加者が  
高齢化し活動継続が困難

128

## 同じ事象でも課題は違う



129

地域をよく見ることで、  
未来に向かって打つべき手も見えてくる。  
未来のタネ、ヒントもそこにある。

130

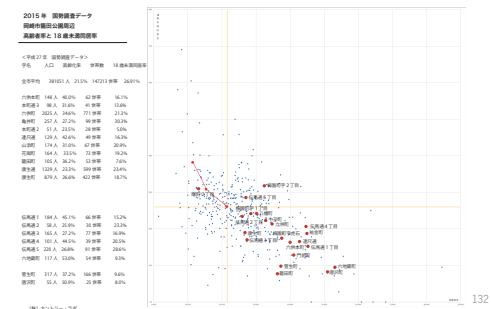
## 事例：愛知県岡崎市

- トヨタ
- 三菱自動車
- マキタ（工具）の本社
- 人口37万人（まだ毎年伸びている）
- 大都市名古屋にもほど近い／豊橋、浜松（政令市）の中間
- 大学、高校、国立付属小中学校など、たくさんある。

131

## 事例：愛知県岡崎市

- だけど高齡化
- 中心市街地は大変なこと。  
高齡化率35～45%  
市全体では21.5%



### 事例：愛知県岡崎市

- ママたちの子育て
- 共働き
- 居場所
- 高齢化した中心市街地の課題。
- お年寄りへの配食  
高齢化率35~45%  
市全体は21.5%



133

### 事例：愛知県岡崎市

Wagamamahouse  
 (わがままはうす)

ママたちが都合のいい時間に働ける  
 安心して子ども連れで来れる  
 お年寄りのケータリングニーズにも対応  
 空き店舗のリノベーション



134

### 事例：愛知県岡崎市

Wagamamahouse  
 (わがままはうす)

ママたちが都合のいい時間に働ける  
 安心して子ども連れで来れる  
 お年寄りのケータリングニーズにも対応  
 空き店舗のリノベーション



135

### 事例：愛知県岡崎市

Wagamamahouse  
 (わがままはうす)



136



事例：愛知県岡崎市

Wagamamahouse  
(わがままはうす)



137